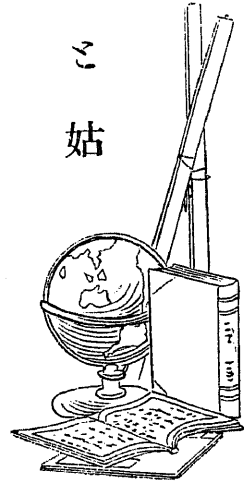


嫁
こ
姑



宮川 壽美子

御承知の通り英國其他の外國では新夫婦は必ず別居するのが當り前でありますから若夫婦は自分勝手な新しい家庭に好き自由な眞似をして、極めてのん氣に面白く暮して居りますで未だ嘗つて嫁と姑との間の關係に就ていさくさの起つたこともないし起る筈もないのであります、我國ではこれ反對で老夫婦も新夫婦も家と云ふものからは何うしても離れることの出来ないものとなつて居て、新しい夫婦は父母の傍に於て古き家庭の中で新しい生活をしなければならぬので自然若いもの等自身にも面白くない、老人の目には勿論面白くない

くて、遂には兩者の間に種々意志の疏通を欠き、行き違ひを來し、ひがみねたみの結果は家庭の風波となる事が多くあります、是は果して如何に結着したらばよいものでありませうか、外國流にするのが適當でせうか、日本流にするのが宜いでせうか、一概には何うも決し兼ねる問題であります、急進家とも云はれるハイカラな人に云はせると、無論別居制度を好みませうが、併し國体を重じ歴史を考へて我國の長所を益世界に發輝して行かうとするには何うしても此家族制度は或度迄は守らねばならぬ様で、今俄かに何れとも決する譯には參りませぬ。

此問題が今日では頗る陳腐な問題であるにも係らず常に新しき研究の絶えないのは多分此邊の考へに決し兼ねる所であるからではありませうか。

英國人などは(婦人でも)皆斯う云ふて居るのです我々は天より稟けたる自由の權を持つて此世に生活するもので是を發輝するのは取りもなはず吾

人人類の天職である、故に假令親兄弟なりとも我等の此自由を妨ぐることは出来ない筈である、新家庭は新夫婦の天下で此處は老人の跋扈す可き所ではない、故に新夫婦は老人等の干渉を受く可き謂れがない、若し萬一、斯様な非理を働くものがあるならば充分之に抵抗しなければならぬ、何となれば吾々はクリシチャンであるからと云ふて居るのです、私が彼地に參つて居る間の事でしたが某夫人が私に向ふて問ふて云ふには、貴女の國では嫁と姑と同じ家の中に暮して居なければならぬと云ふた、ををして若し衝突などがあつたとしても嫁は、姑に従はなければならぬものとしてあるををだが、若し貴女が歸國なされてから御縁付なさる様になつた時に此姑嫁同居問題及衝突問題が起つたならば何うなさるかと申しましたから私は次の様に答へました。

私にも若しも左様な時が參ると致しましたらば私は矢張日本の歴史習慣に背かないで姑と同居

致します、そして姑と充分能く折り合つて行くことの出来る様衝突を避けて參る積りで、假令又萬一にも姑が一通りの人でなく特に邪見な人であるとしても私は神の御助けを以て之を私の方に引付ける様滿身の力を振ふ可きが日本に住んで居るクリスチャンの採る可き道であると存じます」と申しましたら「然様かしら」と云つて頻りに考へて居る様でした、何にせよ彼方の人には我國の様な家族制度は餘程解し兼ねて居る様であります。

私も彼地に參ります前は何となく我國の家族制度に嫌たらないで、西洋の個人主義を此の上ない様にも思ひましたが、愈英國に參つて實際の有り様を見た時には何うも是れは面白くない、若しも我が國に此の様な家庭制度が行はれる様になつては大變だと思ふ様になりました、能く人様は彼國の養老院が在る所に大きな規模で盛んに設備されて居るのを見て一概に社界制度の完備仁義の理想

の様に申されますが、一度觀察を家庭の内部に注いで其親子兄弟の關係が如何に殺風景であるか冷かであるかを御覽になると實際多くの養老院の必要なく到底我國などの比でないことが御別りになりませう、西洋人は全然個人主義で恩愛相酬ひ禍福相補ふと云ふ様なことは親子兄弟の間にも少ないので年をとつても構つて呉れる人がなく止むを得ず、餘生をわぢ氣なく送ると云ふ仕末であります、之を我國の老人が子や孫の温き情に保護されて幸ある餘生を樂んで居るのに比べると實に天壤の差であります、然るに此美風を捨て、唯青春一時の快樂に酔ふて妄りに泰西の個人主義を眞似様とする人の氣が知れませんが、無論私も我國の此制度を以て完全無缺のものとは思ひませんだに改良する必要は感じて居りますが、然りとて妄りに老人を排すると云ふのは如何でせうか考へるものです。

それでは現在の所何うしたら兎に角最も都合よく

行くかと云へば私の考では矢張り姑は嫁に一步を譲り嫁は姑に一目を置いて掛ると云ふ相方に義理人情を楯にして御互に衝突を避け平和を計ると云ふのが最も安全で且効果の多いものではないかと思ひます。

將來の家事教科

若林 幾造

高等女學校の家政科なるものが女學教科として教育社界に重視せられて居ることは兼々承知して居ることであるが併し其内容が果して此重望に添ひつゝあるや否やと云ふことは蓋し刻下の一問題ではあるまいか。

吾人は勿論門外漢であるから此學科が如何なる内容を有するか如何なる状態に教授されて居るか、固より關知する處でない、併し所謂家事教科書なるものを見ると其が多くは机上の空論を書いたものでなければ徒らに清潔にす可し、入るを計り